



学校だより

12月
第9号

○心も体もたくましい子
◎進んで考えくふうする子
○いつも仲よく助け合う子

令和4年12月1日
小金井市立小金井第一小学校

展覧会においても、子供たちの主体的な学びの姿が光りました。

校長 浅野 正道

11月18日（金）、19日（土）の二日間、3年に一度の展覧会を開催しました。今年度の展覧会は、「普段の授業で制作した表現活動の成果を発表し、鑑賞する。」ことや、「創立150周年を記念して作品展示を行い、周年記念を祝う気持ちを高める。」こと等をねらいとしています。子供たちが年度当初より、学級担任及び図工専科教員や講師等の手厚い指導のもとで、図工の授業に真剣に取り組み、工夫して作品づくりを行ってきた成果を、平面及び立体作品（5、6年生は家庭科作品も展示。）に表しました。子供たち一人一人の個性豊かな作品が体育館一杯に展示されて、それぞれ輝きを放っていました。また、創立150周年を記念して全校で制作した共同作品も、展示会場を飾ることとなりました。その様子を、19日（土）の保護者鑑賞日には、早朝から夕方まで多くの方々にじっくりとご覧いただけたことと存じます。日常的な図工や家庭科の学習の積み重ねが、大きな成果となって展覧会の作品に表れていたと考えます。

19日（土）には、2校時から4校時にかけて、6年生の児童が「子供ガイド」として、来場者へ作品のガイドを行いました。「子供ガイド」は、作品をご覧になっている来場者に対し、勇気をもって声を掛け、各自が担当する学年の児童の作品について、特色や工夫されているところ、素敵な点等を説明するものです。6年生の児童は、担当する作品について、作り方や素材、色使い、工夫した点等を取材し、咀嚼した上で、さらに自分なりの解釈を加え自分の言葉で、来場者一人一人に一生懸命に語りかけていました。私も3時間、観覧する一人として、何人もの児童からガイドを受けましたが、いずれも分かりやすく端的に語っている姿が実に素晴らしかったです。来場された皆様も、ガイドの説明を真剣に聞いてくださっていました。「子供ガイド」の一生懸命な姿や言葉が来場者の心にも響き、会場の体育館全体が豊かな芸術空間になり得ていたと感じます。6年生の児童にとって、今後の活動への大きな自信となることでしょう。

その他にも、校門近くや体育館前等で来場者に元気よく挨拶して会場へ案内する児童、創立150周年記念キャラクター「一咲くん」の前の写真撮影スペースで、自ら声を掛けカメラマンとなる児童、スタンプラリーや「一咲くん」の塗り絵、桜や紅葉のはり絵、展覧会の感想を書いて貼ることを促す児童等、それぞれ担当する児童のまさに主体的な姿勢が本当に素晴らしかったです。「子供ガイド」以外の取組や担当者は、全て今回の展覧会で、児童のアイデアを基にして初めて行うことばかりですが、いずれも来場者の皆様が積極的に関わってくださったことにより、会場に一体感が生まれていました。担当した児童も、とても張り切って取り組んでおり、3年に一度の展覧会は創立150周年を記念するのに相応しい、大きな成果を上げられたと自負しています。熱心に児童の作品をご覧くださり、様々な取組に進んでご協力いただいた多くの来場者の皆様に、改めて深く感謝を申し上げます。そして、予想をはるかに上回り、多くの方が午前中から来場されたことで、会場を密な状態にしないため、受付の後、時間帯によって体育館の外に並んでお待ちいただく方が多くいらっしゃいました。大変申し訳なく思っています。しかしながら、皆様にご理解とご協力をいただいたおかげにより、整然と展覧会を進めることができました。誠にありがとうございます。



展覧会当日に向けて、展覧会委員長や図工専科教員をはじめ全ての教職員がよく協力し、児童一人一人に対する丁寧できめ細かい指導と、早めの準備を行って参りました。さらに、毎日、遅い時刻まで熱心に準備に取り組んでいました。児童の頑張りとともに、教職員のそのような姿も皆様にお伝えしたいです。

さて、あと1か月で新しい年を迎えます。保護者や地域の皆様におかれましては、どうか良い年をお迎えください。来る令和5年が皆様にとって良い年となりますように、心より祈念しております。

〈4年生玉川上水見学〉

11月8日(火)に玉川上水へ行きました。学習している玉川上水を実際に歩くことで、現在の玉川上水や小金井桜の状態を理解することができました。歩きながら、「ヤマザクラというのが、上水横に植えられているけど、ソメイヨシノは道路側にあるね。」「平右衛門橋ってあるけど、川崎平右衛門と関係あるのかなあ。」「桜の絵が柵にあたり、マンホールに桜が描かれていたりするから、小金井にとって、桜は大事なのかな。」など、新たな気付きが見られました。

その後、教室で「今後の玉川上水と小金井桜」について考える学習において、この日に見学してきたことを生かし、活発に話し合うことができました。

〈読書感想文 表彰おめでとう〉

《小金井市立小中学校読書感想文コンクール》

優秀賞

「チョコちゃんと給食」 2年 H.Y さん

入選

「かわいいこねこをもらってください」

1年 T.T さん

「長くつ下のピッピ」 3年 T.K さん

「野口英世」 4年 Y.Y さん

「ウィズ・ユー」 5年 F.R さん

本校は、11月にもみじの読書週間がありました。読書週間後には、読書感想文を書きました。

本から得たことを自分に置き換えて考えたり、これからの自分に繋げて考えたりと、思い思いの作文を仕上げていました。素敵な一冊に出会えたようです。

〈学校評価ご協力をお願い〉

本校では、毎年、教育活動や学校運営等の状況について評価を行い、その結果に基づき、学校教育の更なる改善を図ることを目的として、学校評価を実施しています。スクールメールのアンケート機能を活用し、回答をお願いします。12月5日(月)にスクールメールを配信させていただきますので、期限までにご回答ください。詳細は、別途お便りをご覧ください。

〈年末年始のお知らせ〉

12月29日(木)から1月3日(火)までは、年末年始休業のため、校内には入れません。

- ・2学期終業式 12月23日(金)
- ・3学期始業式 1月10日(火)

12月 学校行事予定表

日	曜	学校行事・児童活動等
1	木	音楽集会 安全指導
2	金	MJ 5年連合音楽会 いきいきキッズチャレンジ週間終
3	土	
4	日	
5	月	TV朝会 スポーツ週間始 6年社会科見学
6	火	MJ 避難訓練
7	水	MJ B時程5時間授業 クラブ⑩ 梅の実宿泊事前検診
8	木	整美委員会集会 アフタースクール MJ B時程6時間授業 梅の実宿泊学習
9	金	MJ
10	土	
11	日	
12	月	TV朝会 B時程6時間授業
13	火	MJ
14	水	MJ B時程5時間授業
15	木	なかよし班活動
16	金	MJ B時程6時間授業 クラブ⑪ スポーツ週間終
17	土	
18	日	
19	月	B時程6時間授業
20	火	MJ A時程5時間授業
21	水	MJ B時程5時間授業
22	木	なかよし班活動 大掃除 B時程5時間授業 給食終
23	金	終業式
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日始
27	火	
28	水	
29	木	年末休業
30	金	年末休業
31	土	
1/10	火	始業式 安全指導

お知らせ(産休代替教員)

3年4組の田村遥奈教諭が11月19日(土)から出産休暇を取得しています。3年4組には、新しく産休代替教員として、深野恵利教諭が同日から着任しました。よろしくお願いいたします。



展示会を終えて

1年

あきかんフレンズにビーズをボタンがわりにつけるところをがんばりました。また、女の子なのでモールでリボンをつけるのがたのしかったです。これからも、いろいろな人によるこんでもらえるような、すてきなさくひんをつくりたいです。
(1組 K. Mさん)

ケーキのろうそくをつくりました。ろうそくは、さいごにのりをくっつけるのが、いちばんむずかしかったです。ほかには、「おしゃれなからす」をつくるのがたのしかったです。てんらんかいでは、6ねんせいのすごいものがたくさんありました。
(2組 O. Sさん)

あきかんフレンズのかざりつけがたいへんでした。にこにこした、きみどりのふくをきたかわいいあきかんフレンズをつくれてうれしかったです。これからじぶんらしく、みんなをたのしくさせられるようなさくひんをつくっていきたいです。
(3組 Y. Aさん)

「あきかんフレンズ」で、足をつけるところを、しんちょうにやるようにしてがんばりました。「おしゃれなカラス」の絵は、友だちに「いいね。」って言われてうれしかったです。つぎは、2年生がつくっていた「パフェ」を、わたしもつくってみたいです。
(4組 M. Yさん)

2年

ぼくががんばったことは、パフェのかざりつけです。いろいろなざいりょうを、うまく考えてつかうことができました。がんばって作ったものを、お母さんたちにほめてもらうのも楽しみでした。これからも、もっと考えて、オリジナルの作品を作りたいです。
(1組 O. Kさん)

わたしががんばったことは、「ふしぎなたまご」で、どうぶつを一ぴき一ぴきていねいにかくことです。どうぶつたちが、しあわせになるところをイメージしてかきました。家ぞくみんなに見てもらえることが、うれしかったです。これからも、もっとじょうずな絵をかくて、がんばりたいと思いました。
(2組 N. Sさん)

わたしが一番がんばったことは、パフェの作品です。紙ねん土でぶどうやりんごのフルーツを作って楽しかったです。みんなの作品を見ると、すてきなマカロンを作っていたので、わたしも2つ作りました。さいごに一番すきなビー玉と星をかざりつけて、かんせいさせました。つぎのてんらん会もきれいな作ひんを作りたいです。
(3組 T. Kさん)

わたしは、スイミーの絵をがんばりました。海の中のクラゲや海の上にいるくじらを作ると、だんだんにぎやかになっていきました。スイミーの絵をみて「すごい。」と言われたことがうれしかったです。これから、むずかしくてもあきらめずに、作ひんをがんばって作っていきたいです。
(4組 M. Rさん)

3年

キラキラレリーフで頑張ったことは、花をイメージして、色合いを工夫したところです。作品を友達から「きれいだね。」と言われたのが嬉しかったです。展示会を通して、これから図工の作品を作るときには、もっと自分の作品に対する気持ちが伝わるような作品を作りたいと思いました。
(1組 N. Mさん)

作品作りで頑張ったところは、可愛らしく、私っぽくしたところです。色をバランスよく塗ることも頑張りました。図工の時間に「あれにしようかな？」と作品の内容を考えている時間がとても楽しかったです。他の学年の作品を見ることができて、「こういう作品もあるんだな。」と嬉しくなりました。
(2組 O. Hさん)

キラキラレリーフのお花をカッターで切っていると変な形になったりして難しかったです。でもゆっくり丁寧に切ったらできました。これからは、もっと他の人の作品を見て、作品のよいところをたくさん見つけたいです。6年生の時には、子供ガイドも頑張りたいです。
(3組 N. Rさん)

くぎのこトントンは何回もわけてしまったけれど、さいごはきれいな作品ができたので、がんばってよかったと思いました。作品を友だちから「上手だね」と言われてうれしかったです。これから立体作品をつくるときには、もっと動くようなしくみのあるものを作れるようにしたいです。
(4組 E. Tさん)

梅の実

「ご当地めぐり」の作品では、秋田県のなまはげを張り子で作りました。なまはげの赤色を塗るのが楽しかったです。また、怖い角を作ることができました。赤色や怖い角で多くの人に「怖いな。」と思ってもらえるように頑張っていました。(1組 T. Rさん)

「ご当地めぐり」の作品作りでは、栃木県のことをたくさん調べました。その中で佐野ラーメンをはりこで作りました。のりをペタペタとはることをがんばりました。「どうやって作ったの？すごいね。」と家族が話していてうれしかったです。(2組 S. Kさん)

立体の作品では、張り子のてんぐの色をぬったり、鼻を長く作ることをがんばりました。平面の作品で、「エビの色がきれいにできたね。」とほめられて、うれしかったです。次の行事は宿泊学習です。高尾山の山登りをがんばりたいです。(3組 T. Rさん)

4年

作品づくりで楽しかったことは、いろいろなアイデアを思い浮かべることです。思っていた以上に、自分の作品が理想とおりになっていてうれしかったです。高学年の人の作品は、すごくクオリティが高かったので、これからも努力をして、みんなからすごいと言われるような作品を作りたいです。(1組 M. Sさん)

みんなが笑ってくれるような作品が作れるようにがんばりました。作品づくりをしている中で、楽しかったことは、色をぬる作業です。理由は、ぬっていくとだんだんと面白い見た目になってきたからです。今度は、面白い作品だけでなく、美しい作品を作りたいと思います。(2組 S. Sさん)

平面の作品を作るときに、最後までしっかりいっぱいの線をかいてきれいにしたところをがんばりました。立体の作品では、色塗りに力を入れて、白いところなるべくないようにしました。5、6年生の作品を見てきれいだったので、よく考えてもっといい作品を作っていきたいです。(3組 T. Jさん)

5年

他の学年の作品を見て、作ってみたい作品や、自分の作品とちがうところなどたくさんあった展覧会だった。展覧会の実行委員になってみて、看板づくりや企画など、たくさんやることがあったけれど、最後は「やって良かったな」という気持ちになれた。6年生に向けて、さらに行事の代表を経験してこれからも積極的に行動していきたい。(1組 S. Cさん)

ひとつひとつ、題名からみんなの伝えたい思いが伝わった。プロジェクトチームとして仕事をしたので、かんばんなどをみんなが「すごい。」と言ってくれて、達成感と喜びが心の中に広がった。次の展覧会はないけど、また何かの機会にはリーダーとして頑張りたい。6年生に向けて、みんなを引っ張るということを生かしていきたい。(2組 Y. Hさん)

展覧会当日、多くの保護者からメッセージが届き、自分たちの案からみんなの笑顔があったと知り、心が温かくなりました。この行事から、私は今までより進んで頑張れる自分になれたと思います。実行委員という、学校を支える大事な役割の責任をしっかりと果たすことができました。6年生ではもっと前に出て、活動できるリーダーになりたいです。(3組 W. Mさん)

6年

作品を作っている時、6年間の思いを真剣に込めて作った。他の人の作品と比べて、私の作品の色合いは少しくらい感じがしたが、ガイドをした際に、「他の作品とはちがう良さがあったよ。」と言われて、自分に自信をもつことができた。自分の作品をガイドすることで、私が見つけた良さ以外の良さもみつけることができた。(1組 I. Sさん)

子供ガイドとして作品の説明をした時に、初めは緊張したし、大丈夫かなという思いが強く、なかなか声をかける勇気が出ませんでした。しかし、勇気を出してガイドをすると、終わった後に、「見ていただけじゃ分からないことがたくさんあったよ。ありがとう。」や、「がんばってね。」という温かい言葉をもらって、コミュニケーションを通して、だんだん楽しくなっていました。自分にとって、成長に繋がる機会でした。(2組 S. Mさん)

国語、算数、理科、社会、英語ができることも大切だけれど、工作や絵を描くことができると、すっきりしたり、想像力がより豊かになったりするという良さがあることが分かった。今回の展覧会で、改めて図工は楽しいと感じた。これからも、私にしか考えられない、私だから考えることができる、想像力を大切にしたい。(3組 O. Aさん)